

# ロジスティクス管理 2級 ガイドライン

## 試験基準の細目

- ・ロジスティクス管理の体系
- 1. 企業経営とロジスティクス管理
  - (1) 経営におけるロジスティクスの位置づけ
    - イ 経営効率化とロジスティクス活動
      - 企業経営環境と課題
      - 経営改革とロジスティクス戦略
      - SCM(サプライチェーン・マネジメント)とロジスティクス
    - ロ ロジスティクスの領域
      - 顧客満足
      - ロジスティクス・ネットワーク
      - 効率管理とコストマネジメント
      - 在庫マネジメント
      - 企業連携
  - (2) ロジスティクス管理サイクル
    - イ ロジスティクス戦略と計画の策定
      - 長期ロジスティクス戦略
      - ロジスティクス計画と達成目標の策定
    - ロ 遂行管理と評価
    - ハ 課題発見と問題解決
  - (3) ロジスティクス管理と組織
    - イ ロジスティクス組織の機能と形態
      - ロジスティクス組織の機能(市場変動に対応する横断的組織、伝統的縦型組織の限界)
      - ロジスティクス組織の形態
      - 物流子会社という組織の課題と展望
    - ロ 企業連携とアウトソーシング
      - SCMと企業連携
      - 経営効率化とアウトソーシング
      - 3PL(サードパーティ・ロジスティクス)
- 2. 物流サービスの管理
  - (1) 物流サービスの構成要素
    - イ 顧客満足と物流サービス
    - ロ 物流サービスの種類と管理のポイント
      - 物流サービスの種類
      - 物流サービスの管理のポイント
  - (2) 物流サービスレベルの解析と設定
    - イ 物流サービスの現状調査と分析
    - ロ ベンチマーキングとサービスレベルの設定
    - ハ 顧客セグメントとサービスレベル
    - ニ 物流サービスの実行と管理サイクル
- 3. ロジスティクス統制
  - (1) ロジスティクスとリスクマネジメント
    - イ ロジスティクスに伴うリスク
    - ロ リスクマネジメント
  - (2) 物流品質管理
    - イ 物流品質の種類と管理の範囲
    - ロ 物流品質管理のポイント
      - ISO9001
      - 作業者教育と訓練、設備、管理体制
      - その他
  - (3) ロジスティクス評価指標
    - イ ロジスティクス管理と経営効率指標(ROA、キャッシュフロー、棚卸資産回転率等)
    - ロ 顧客サービスの視点からの評価(納品リードタイム、在庫アベイラビリティ、納期遵守率、誤出荷率等)
    - ハ 物流効率の視点からの評価(物流コスト、生産性指標)
    - ニ その他のロジスティクス評価(安全・事故防止、法令遵守、環境保全等)
  - (4) ロジスティクス監査
    - イ 内部監査
    - ロ システム監査
- 4. 物流と環境問題

## 試験基準の細目

- (1) 物流と環境問題の関わり
  - イ 地球環境問題と国際条約（京都議定書等）
  - ロ 廃棄物と資源循環型社会形成
  - ハ 自動車排出ガスを主とした大気汚染問題
- (2) 輸送と環境問題
  - イ 省エネルギー法
  - ロ その他の各種行政施策（グリーン物流パートナーシッププログラム等）
- (3) その他の物流活動と環境問題
  - イ 資源有効活用のための3R（リデュース、リユース、リサイクル）
  - ロ 廃棄物処理
  - ハ 欧州における環境法規制
  - ニ その他の各種行政施策
- 5. 物流に関する政策
  - (1) 我が国の物流政策
    - イ 総合物流施策大綱における重点施策
    - ロ 都市圏物流効率化のための施策
    - ハ その他の物流施策
  - (2) 諸外国の物流政策
    - イ 都市内走行規制及び物流プラットフォーム
    - ロ FQP（Freight Quality Partnerships：貨物車交通マネジメント組合）
- . 在庫・システム・コスト管理
- 1. 在庫管理
  - (1) 在庫管理方式の種類
    - イ 在庫管理方式の種類と計算方法
      - 定期不定量補充方式（MRP）
      - 不定期定量補充方式（かんばん方式、補充点管理方式）
      - 不定期不定量補充方式
      - 安全在庫の計算方法とサービスレベル
    - ロ 在庫分類と在庫削減の方策
      - 在庫品の分類と特性
      - 在庫保有期間（滞留期間）による在庫の分類
      - 在庫の配置（拠点数、階層数）の削減
      - 在庫削減の方策
  - (2) 需要予測
    - イ 需要予測の概要
      - 需要予測の目的
      - 需要変動の要素
      - 需要予測手法の体系
      - 需要予測システム設計のポイント
      - 需要予測のステップ
    - ロ 需要予測の手法（回帰分析等）
  - (3) 在庫分析手法とその活用
    - イ ABC分析の活用（在庫配置、生産・調達方式、品目削減等）
    - ロ 在庫鮮度分析の活用（死蔵在庫、余剰在庫の抽出と処理）
- 2. 物流システム管理
  - (1) 物流システムの概要
    - イ 企業内物流システムのタイプと特徴（メーカー、卸、小売）
    - ロ 企業間物流システムの取組み（共同配送、ミルクラン、VMI、CRP等）
    - ハ 国際物流システム
      - 海上輸送、航空輸送、複合輸送
      - 関連する事業者とその責任範囲
  - (2) 物流拠点計画
    - イ 立地選定
      - 立地選定に当たり考慮すべき要素（サービスレベル、在庫、物流コスト等）
      - 立地選定の手法
    - ロ 拠点規模見積りとレイアウト設計
      - 拠点規模見積り
      - レイアウト設計のポイント
  - (3) 輸送モードの選定

## 試験基準の細目

- イ 輸送モードの種類と特徴
- ロ 輸送モード選定の留意点
- (4) 物流システム開発・移行
  - イ 物流システム開発タスク
  - ロ 導入スケジュール
  - ハ 移行計画
- (5) 委託先管理
  - イ 委託先選定
  - ロ 委託内容の決定
  - ハ 契約内容の検証と決定
  - ニ 委託先の評価
  - ホ パートナーとしての管理
- (6) 物流システム改善
  - イ 物流改善のための各種手法
    - 倉庫内作業改善のための手法、技術等
    - 輸送改善のための手法、技術等
  - ロ 物流データ分析
    - 入出庫トランザクション、在庫データ、作業実績等を用いた分析
    - 運行実績を用いた分析
  - ハ 物流業務の効率化
- 3. 物流コスト管理
  - (1) 物流原価管理
    - イ 直接原価計算
    - ロ 物流標準原価
    - ハ 物流標準原価による管理
  - (2) 物流予算管理
    - イ 予算編成手順
    - ロ 改善分析と予算統制
      - 予算と実績の差異分析
      - 予算統制と部門の役割・権限・責任範囲
  - (3) 物流ABC(活動基準原価計算)
    - イ 物流ABCの基本構造
      - 物流ABCと従来の原価計算との違い
      - 物流ABCの計算手順
    - ロ 物流ABCを用いた各種分析
      - サービス内容別コスト・顧客別コストの算定と分析
      - その他の分析・活用方法
  - (4) 棚卸資産管理
    - イ 棚卸資産の評価方法
      - 原価法
      - 低価法
    - ロ 評価損・廃棄損と財務諸表との関係
  - (5) 物流採算計算
    - イ 物流設備投資の経済性計算
    - ロ 物流の原価企画(物流システム再編・物流改善等のコストシミュレーション)
  - (6) コストトレードオフ分析
    - イ サービスレベルと物流コスト
    - ロ 拠点数と物流コスト
    - ハ 在庫削減と物流コスト
    - ニ 環境対策と物流コスト
- . 物流情報システム
- 1. 物流情報システムと情報通信技術
  - (1) 自動認識技術とその活用
    - イ 自動認識技術の種類
    - ロ OMR・OCR・磁気ストライプ
    - ハ データキャリア
      - 一次元バーコード・二次元コード(シンボル)
      - RFID(無線タグ、ICタグ、RFタグ)
  - (2) 無線技術とその活用

## 試験基準の細目

- イ 無線LAN（倉庫管理システム等での活用）
- ロ 移動体通信（トラック車載端末、携帯情報端末等での活用）
- ハ 衛星通信（GPS等での活用）
- (3) インターネット技術とその活用
  - イ 企業紹介（ホームページ）・照会サービス・ブログ
  - ロ 取引情報交換・物流EDI・Web-EDI
  - ハ 物流VAN
  - ニ 物流EC（電子商取引）・求荷求車システム
- 2. 物流情報システム開発
  - (1) 物流アプリケーションの概要
    - イ 物流アプリケーションの体系
      - 物流経営環境関連からの体系（取引先関連等）
      - 物流経営三層からの体系（戦略・計画、管理、業務）
      - 物流ネットワーク関連からの体系（機能、経路、範囲等）
    - ロ 物流アプリケーションの開発と運用のポイント
    - ハ 物流の可視化・追跡化・即時化・自動化システム
  - (2) 受注処理システム
    - イ 受注処理システム全般と他システムの関連
    - ロ オーダーエントリーのオンライン化・EDI化・インターネット化
    - ハ 受注処理と顧客サービス
    - ニ 事前出荷案内（ASN）
  - (3) 購買・発注処理システム
    - イ 購買・発注処理システム全般と他システムの関連
    - ロ 在庫管理（ABC分析）と発注処理
    - ハ 人的発注と自動発注（パートナーシップ補充システム：VMI/CRP）
    - ニ 協働発注（コラボレーション補充システム：CPFR）
  - (4) 在庫管理システム
    - イ 在庫管理システム全般と他システムの関連
    - ロ 単品管理と情報精度
    - ハ 適正化在庫管理システム（需要予測等）
  - (5) 倉庫管理システム（WMS）
    - イ 倉庫管理システム全般と他システムの関連
    - ロ 入出荷検品処理
    - ハ 返品処理
    - ニ 棚卸処理
    - ホ ロケーション管理
    - ヘ 自動倉庫システム
    - ト その他の管理システム（作業管理等）
  - (6) 輸送管理システム（TMS）
    - イ 輸送管理システム全般と他システムの関連
    - ロ 集荷・配送指示システム
    - ハ 車両運行・ドライバー管理システム
    - ニ 輸送モード選択・運賃計算システム
    - ホ ITS（高度道路交通システム）
  - (7) 物流分析・シミュレーションシステム
    - イ 物流生産性分析・ABC分析
    - ロ 物流シミュレーション（拠点立地、拠点レイアウト、物資移動、在庫方式、サービス方式等）
  - (8) SCMシステム
    - イ SCMとDCM（デマンド・チェーン・マネジメント）
    - ロ SCMパッケージ（SCPとSCE）
- 3. 国際物流に関する情報システム
  - (1) 輸出入業務システム等
    - イ 顧客との情報システム
    - ロ 輸出入書類作成システム
    - ハ 港湾情報システム
    - ニ 通関システム（NACCS）
  - (2) 貿易金融関連システム
    - イ B/Lの電子化
    - ロ その他
  - (3) 国際貨物管理システム
    - イ トレースシステム

## 試験基準の細目

自社、船会社、ネットワーク

R F I D

□ 各国の物流情報インフラ